

平成 27 年 7 月 31 日

沖縄電力株式会社

平成 27 年度 第 1 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 1 四半期の販売電力量は、電灯はお客さま数の増加に加え、気温が高めに推移したことによる需要増から、前年同期に比べ 3.7%増の 6 億 61 百万 kWh となりました。また、電力においては、業務用電力における新規お客さまによる需要増や気温の影響から、前年同期に比べ 3.9%増の 11 億 11 百万 kWh となりました。

その結果、電灯と電力(特定規模需要を含む)の販売電力量は、前年同期に比べ 3.8%増の 17 億 72 百万 kWh となりました。

2. 収支の状況

当第 1 四半期の収支については、収入面では、電気事業における売上高(営業収益)は、燃料費調整制度の影響による減少があったものの、販売電力量の増や再エネ特措法交付金の増などにより増加しました。また、連結子会社においては外部向け売上高が減少となりました。その結果、前年同期に比べ 86 百万円減(0.2%減)の 418 億 7 百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において再エネ買取量の増加により他社購入電力料が増加したものの、燃料費や固定資産除却費等が減少したことから、営業費用は前年同期に比べ 10 億 17 百万円減(2.3%減)の 422 億 91 百万円となりました。

以上の結果、営業損益は前年同期に比べ損失幅が 9 億 30 百万円縮小し、4 億 84 百万円の損失となりました。

また、営業外損益を含めた経常損益は 8 億 28 百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は 7 億 69 百万円の損失となりました。

3. 連結業績予想

平成 27 年度通期の業績予想については、売上高は 1,855 億円、営業利益は 74 億円、経常利益は 54 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 39 億円を見込んでいます。

売上高については、電気事業において燃料費調整制度の影響や販売電力量の増加による電灯電力料の増などにより、前回発表(4月30日)から 18 億円の増加を見込んでいます。利益については、電気事業において再エネ買取量の増加等による他社購入電力料の増や円安の影響等による燃料費の増が見込まれることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、前回発表通りを見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

		平成 27 年度 第 1 四半期累計(実績)	平成 26 年度 第 1 四半期累計(実績)	増減	増減率
	電 灯	661	637	+24	+3.7%
	電 力*	1,111	1,069	+42	+3.9%
	合 計	1,772	1,706	+66	+3.8%
参 考	民生用需要	1,449	1,381	+68	+4.8%
	産業用需要	323	325	△2	△0.6%

※電力には、特定規模需要を含む。

■連結経営成績（売上高：5年ぶり減収、3年連続経常損失）

(単位：百万円)

		平成 27 年度 第 1 四半期累計(実績)	平成 26 年度 第 1 四半期累計(実績)	増減	増減率
	売 上 高	41,807	41,893	△86	△0.2%
	営 業 利 益	△484	△1,414	+930	—
	経 常 利 益	△828	△1,809	+980	—
	親会社株主に帰属 する四半期純利益*	△769	△1,461	+692	—

※平成 27 年より「四半期純利益」から「親会社株主に帰属する四半期純利益」に名称変更。

○連結業績予想

業績予想については、平成 27 年 4 月 30 日に公表した予想数値から修正しています。

■連結業績見通し比較（対 4 月公表値）

(単位：百万円)

		平成 27 年度通期 今回発表予想数値	平成 27 年度通期 前回発表予想数値 (4 月公表)	増減 (対 4 月公表)	平成 26 年度 実績
	売 上 高	185,500	183,700	+1,800	185,001
	営 業 利 益	7,400	7,400	—	9,479
	経 常 利 益	5,400	5,400	—	7,638
	親会社株主に帰属 する当期純利益*	3,900	3,900	—	4,943

※平成 27 年より「当期純利益」から「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称変更。